

ポータブル ATM テスタ SD-1000 for Windows95  
 1.5Mbps INTERFACE SD-537  
 取扱説明書 正誤表

P13 【第5章 モニタの操作 - 測定手順 - 被測定回線と接続する】  
 ライン・モニタの接続形態に関する項目を以下の通り差し替えます。

**ライン・モニタ**

ライン・モニタ接続では、SD-537の4つのポートを介して2系統の網⇄端末を接続し、そのうち任意の2ポートを選択してモニタする事ができます。モニタするポートを切り替えるには、「セットアップ」ダイアログボックス内[その他]タブの[モニタポート]グループボックスの中から選択します。

1系統の網と端末間の接続だけでもモニタはできます。

SD-1000 + 制御用ノートパソコン

ATM 交換機

R1 R2 R3 R4

ATM 端末機 A  
ATM 端末機 B

R1～R4のうち、任意の2ポートを選択してモニタします。

P13 【第5章 モニタの操作 - 測定手順 - 被測定回線と接続する】  
 簡易端末の接続形態に関する項目を以下の通り差し替えます。

**簡易端末**

簡易端末接続では、以下の二通りの接続形態があります。これを切り替えるには、「セットアップ」ダイアログボックス内[その他]タブの[テストポート]グループボックスの中から選択します。

図中の T3 ポートからは、T1 ポートと同じデータが出力されます。

SD-1000 + 制御用ノートパソコン

モニタするポート。

ATM 交換機

T1 R1

SIDE A を使用

SD-1000 + 制御用ノートパソコン

モニタするポート。

ATM 交換機

T1 R1 T3 R3

SIDE A とSIDE B を使用

P22 【第5章 モニタの操作 - 基本操作 - セルデータを送信する】  
「セル送信設定」ダイアログボックスの画面を以下の図に差し替えます。

P24 【第5章 モニタの操作 - 基本操作 - アラームおよびエラー状態をモニタする】  
「エラー & アラーム情報」ウィンドウの画面を、以下の図に差し替えます。

P30 【第5章 モニタの操作 - 応用操作 - エラーが発生したときのセルデータを解析する】  
「セットアップ」ダイアログボックス内「アラーム/エラートリガ」タブの画面を、以下の図に差し替えます。

P44 【第6章 セルロス測定 の操作 - 試験方式について】  
ペイロードエラー率に関する記述に誤記がありました。以下のように変更します。

誤) ペイロードエラー率測定は、送信セル総数に対してのペイロードエラーセル数の割合を測定して求めています。  
正) ペイロードエラー率は、受信セル総数に対してのペイロードエラーセル数の割合を測定して求めています。

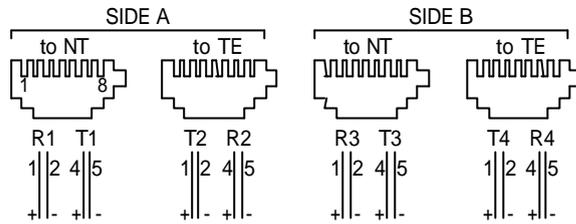
## 【第8章 付録】

コネクタに関する記述を、以下のように追加します。

## コネクタについて

SD-537 の回線と接続するコネクタ(ISO10173 準拠) のピン・アサインは、以下の通りです。

## IWATSU SD-537 1.5Mbps INTERFACE

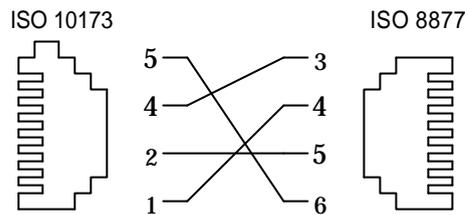


**T<sub>x</sub>、R<sub>x</sub> の定義** (x は、1 ~ 4 の整数)

T<sub>x</sub>: SD-537 がデータを送信する。

R<sub>x</sub>: SD-537 がデータを受信する。

ISO8877 準拠コネクタとの、ストレート・ケーブル同士での結線例を、以下に示します。



## 【第8章 付録 -SD-537 仕様】

取り込みデータサイズのキャプチャフレーム数に関する記述をに誤記がありました。以下のように変更します。

誤) キャプチャフレーム数 上り下り各 1,000 フレーム

正) キャプチャフレーム数 上り下り各 16,000 フレーム